

ユーザー各位

化学物質のご使用にあたっては

# 労働災害を防止するため **リスクアセスメント** が必須です。

## <リスクアセスメントとは>

化学物質の持つ危険性や有害性を特定し、それによる労働者への危険または健康障害が生じる場合、リスクの低減を検討することを意味します。

## 労働安全衛生法 第57条の3

『化学物質を使用する方は、危険性や有害性をラベル表示とSDS (安全データシート) より調査し、危険または健康障害を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。』


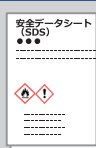
## リスクアセスメントの流れ

リスクアセスメントは以下の手順で進めます。

### STEP 1

#### 化学物質などによる危険性または有害性の特定 (\*1)

化学物質について、リスクアセスメントなどの対象となる業務を洗い出した上で、ラベル表示とSDSに記載されている、GHS分類 (化学物質の危険有害性ごとの分類) などから危険性または有害性を特定します。

ラベル	SDS (安全データシート)
 <p>ラベルによって、化学物質の危険有害性情報や適切な取扱い方法を伝達 (容器や包装にラベルの貼付や印刷)</p>	 <p>事業者間の取引時にSDSを提供し、化学物質の危険有害性や適切な取扱い方法などを伝達</p>






(\*1)

### STEP 2

#### 特定された危険性または有害性によるリスクの見積り

対象物が労働者に危険を及ぼし、または健康障害を生ずる発生度合と危険度を考慮します。

#### <危険有害性クラスと区分 (強さ) に応じた絵表示と注意書き>

 <p>【炎】 可燃性/引火性ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 など</p>	 <p>【円上の炎】 支燃性/酸化性ガス 酸化性液体・固体</p>	 <p>【爆弾の爆発】 爆発物 自己反応性化学品 有機過酸化物</p>
 <p>【腐食性】 金属腐食性物質 皮膚腐食性 眼に対する重大な 損傷性</p>	 <p>【ガスボンベ】 高压ガス</p>	 <p>【どくろ】 急性毒性 (区分1~3)</p>
 <p>【感嘆符】 急性毒性 (区分4) 皮膚刺激性 (区分2) 眼刺激性 (区分2A) 皮膚感作性 特定標的臓器毒性 (区分3) など</p>	 <p>【環境】 水生環境有害性</p>	 <p>【健康有害性】 呼吸器感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性 (区分1, 2) 吸引性呼吸器有害性</p>

### STEP 3

#### リスクの見積りに基づくリスク低減措置の内容の検討

リスクアセスメントの結果に基づき、労働者の危険または健康障害を防止するための措置の内容を検討します。

#### <GHS国連勧告に基づくSDSの記載項目>

1 化学品および会社情報	9 物理的および化学的性質 (引火点、蒸気圧など)
2 危険有害性の要約 (GHS分類)	10 安定性および反応性
3 組成および成分情報 (CAS番号、化学名、含有量など)	11 有害性情報 (LD <sub>50</sub> 値、IARC区分など)
4 応急措置	12 環境影響情報
5 火災時の措置	13 廃棄上の注意
6 漏出時の措置	14 輸送上の注意
7 取扱いおよび保管上の注意	15 適用法令 (安衛法、化管法、消防法など)
8 ばく露防止および保護措置 (ばく露限界値、保護具など)	16 その他の情報

### STEP 4

#### 検討したリスク低減措置の実施

検討したリスク低減措置の内容を速やかに実施します。

### STEP 5

#### リスクアセスメント結果の労働者への周知

リスクアセスメントを実施したら、使用者へ周知します。

化学物質を使用するにあたり、危険性や有害性が高い環境では風通しを心掛ける必要があります。



#### 使用上のご注意

風通しの悪い場所では換気設備を用いるなど、必ず新鮮な空気を取り込んでください。